

# 進む葛巻病院の改築

# 新病院の完成を心待ち

27年度の患者数の状況は、年間延べ入院患者数が1万4243人で、前年度に比べて756人、5%減少しました。外来患者数は3万4859人で、前年度に比べて807人、2.4%の増加です。患者数の状況は、下の表のとおりです。

28年度末完成予定の新葛巻病院の改築工事が本格的に始まり、多くの町民が期待を寄せています。新病院の開設を見据え、さらに職員が一丸となって経営に努力することが重要です。



着々と進む新病院の改築工事

## 7月定例会議

7月定例会議は、7月1日から6日までの6日間の日程で行われました。1日、4日と6日の本会議では、本町の姉妹町村である、沖縄県北中城村との友好の絆を深めるため、「かりゆしウエア」を着用して議事に臨みました。（関連記事14ページ）

町長から提出された議案は、27年度葛巻病院事業会計の決算認定や28年度補正予算など7件、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では4名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

### 27年度患者数の状況

患者数	27年度	26年度	増減		病床利用率 (%)
			人員	率 (%)	
入院	1万4243人	1万4999人	△756人	△5.0	49.9
一般病床 (60床)	9407人	9651人	△244人	△2.5	42.8
介護病床 (18床)	4836人	5348人	△512人	△9.5	73.4
外来	3万4859人	3万4052人	807人	2.4	-
計	4万9102人	4万9051人	51人	0.1	-



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

27年度決算は、一般会計からの繰り入れなどで単年度黒字決算となり、累積欠損金が減少しました。引き続き、医業収益の確保と経営基盤の安定化に向けて、財政の健全化を望みます。

個人未収金が減少したことは、職員の努力が認められます。引き続き、個人未収金の解消に向けて、効果的な回収を求めます。

### 監査委員の意見

決算特別委員会（柴田勇雄委員長、山岸はる美副委員長）を設置し、7月5日に病院事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

### 決算特別委員会

### 27年度病院事業会計決算状況

区分	27年度	26年度	前年対比
事業収益 (a)	9億1527万円	9億211万円	1.5%
事業費用 (b)	8億7121万円	13億2086万円	△34.0%
純利益 (a)-(b)	4406万円	△4億1875万円	110.5%
年度未累積欠損金	5億8341万円	6億2747万円	△7.0%

27年度決算は、事業収益9億1527万円に対し、事業費用が8億7121万円、純利益を計上し、単年度黒字決算となりました。

27年度  
病院会計決算  
認定

単年度黒字決算

累積欠損金が減

これにより、累積欠損金が5億8341万円に減少しました。この要因は、病院経営計画に基づいた経営努力の成果と、一般会計から5千万円を繰り入れたことによるものです。決算の状況は、上の表のとおりです。

病院経営では、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の診療開始や糖尿病教室を開催するなど、医療サービス向上のため、新たな取り組みを始めました。

今後も、医師、看護師、職員が連携しながら、住民ニーズを的確に捉えた取り組みが必要と考えます。

### 看護師職員充足状況は

葛巻病院  
葛巻病院

問 看護師職員は、不足していませんか。  
答 現在は不足していませんが、28年度末で退職する看護師職員を補充するために、町の奨学金制度を周知しながら確保に努めます。

### 新たに取組む医療サービスは

葛巻病院

問 新たに取組む、医療サービスは。  
答 現在、ペースメーカーの検査ができるように準備を進めています。